

6/8 王

マイナ 家族 口座 13 万件

本人名義再登録求める

マイナンバーとひもづける公金受取口座の登録制度で、家族内で同じ口座を登録した例が多数みつかっている問題をめぐり、河野太郎デジタル相は7日、じつじた「家族口座」が少なくとも約13万件確認できたとする調査結果を公表した。家族口座以外に公金受取口座が別の人々のマイナンバーに登録されているケースが748件も確認されたとし、謝罪した。(小手川太朗)▼3面●普及あり苦難目

で、公表や対応が遅れた理由について「情報を受けた人がデジタル庁から離任していた」とし、庁内で情報共有がされなかつたと説明した。

今回の調査はマイナンバーにひもづけられた口座約5400万件を対象に行つた。本人名義ではない家族口座が13万件に上つたのは、子どもの口座がなく家族でひとまとめにしたことが原因と主張。「家族名義での登録は、本人が意図してやる

もの」と登録側の問題としつつ、「いまのシステムでは防げなかつた」と不備を認めた。今後、システムの改修に取り組むといふ。家族口座は本人に登録し直すよう、オンラインで行政サービスが受けられる「マイナポータル」に通知する」とし、「9月末までに訂正をお願いしたい」と呼びかけた。

再登録しない場合は、本人口座の確認に時間を要するため、今後、行政からの給付金などの支給

6月半ば開港で諸税金が
あつた」とを運営する。
河野氏は「國政府の監督
に安心して公金受取口座
の登録を行つてもらい、
迅速かつ確実な給付が実
現できるよう、引き続き
信頼の確保に取り組んで
いきたい」と述べた。

「個人情報保護と国民の信頼確保が前提で、力」ドに関係する誤り事案を重く受け止める必要がある」と述べ、全データやシステムを再点検する者えを改めて示した。